

モスク・教会・葬儀会館の視点から

異文化「終活」を考えるセミナー (その3)

外国人高齢者は毎年増えています。

日本で人生を終える人も増えていくと考えられます。

“吊い”に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがいによって様々です。

多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。

異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。

このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう、モスク・教会・葬儀会館の視点から参加者といっしょに考えていきたいと思います。

**ZOOM 開催
参加無料**

日時：2022年8月21日 (日)

13:30～16:30

(Zoomでのオンラインミーティング)

定員：100名 (先着順)

1 趣旨説明

王榮 (木下貴雄) 氏 (外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表)

2 在日外国人の「吊い」事情

モスクの場合：サラ・クレシ好美氏 (名古屋モスク)

教会の場合：松浦悟郎氏 (カトリック名古屋教区)

葬儀会館：鵜野智教氏 (株式会社ティア)

3 ディスカッション

※諸事情によって、登壇者が変わることがあるので、予めご了承ください。

参加を希望される方は、8月13日 (土) までに、以下の方法でお申し込みください。

●愛知県立大学 地域連携センター Web申込システム

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/0011319.html>

問い合わせ先：愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課

E-mail: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp



共催：愛知県立大学 (生涯発達研究所・地域連携センター)

外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、
多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)